

図書館だより



令和6年1月号
泉が丘小学校

新年あけまして、おめでとうございます。「一年の計は元旦にあり」ということわざを知っていますか？一年の始まりに、準備や計画をしておくことと物事はうまくいく、という意味です。皆さんも何か目標をもって、今年の学校生活を送れるといいですね。



ことし えと りゅう ほん
今年の千支 竜がでてくる本



辰年はものごとが活発になって大きく成長し、形が整う年だといわれています。また、竜・龍は十二支の中で唯一空想上の生き物で、角は鹿、頭は駱駝、目は鬼、身体は蛇でできているとされています。この不思議な「竜」に関する本や物語を紹介します。



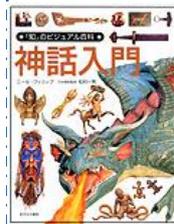
「青い竜と黄色い竜」松谷みよ子／太平出版社
韓国の民話。弓の名人が、青い竜から、乱暴な黄色い竜を倒してほしいと頼まれるが、一度は失敗。主人公はどうなるのか？



「花のつくりとしくみ観察図鑑 通学路の花」松原巖樹／小峰書店
この本に竜がでてくるのかな？
答えは、竜に見立てた「リュウノヒゲ」。「竜の玉」と呼ばれる青いきれいな実があります。



「てのひらむかしばなし 十二支のはじまり」長谷川摂子／岩波書店
「一月一日の朝、神様の家にきた者に1年ずつ年をやる」ときいて、動物たちは大はりきり。十二支の中に、竜もいますね！



「知のビジュアル百科神話入門」ニール・フィリップ／あすなろ書房
ギリシア神話から、日本神話まで、楽しく学べる入門書。世界中で語り継がれる「宝の番人ドラゴン」も紹介しています。



「東照宮再発見」高橋晴俊／栃木新聞社
1988年栃木新聞の連載。手をたたくと鳴く本地堂の天井の鳴き竜、東照宮の装飾品の龍など、丁寧に解説しています。



「ヒックとドラゴン ①伝説の怪物」コーウェル／小峰書店
ドラゴンが大好きな男の子ヒックはある日、運命のドラゴン、トゥースレスと出会う。二人は、巨大な怪物ドラゴンと戦うことに…。





新春イベント★泉が丘おみくじ



今月、業間や昼休みに本を借りると、特製「泉が丘おみくじ」を引くことができます。おみくじで大吉がでた人には、すてきなプレゼントをさし上げます！中吉・小吉を引いた人は、おみくじでおすすめしている本を借りると、プラス1冊本を借りることができます。新年の運だめし、ぜひ、参加してくださいね！！

ちゅうい プラス1冊本を借りる時は、カウンターでおみくじを見せてください。なくさないように気をつけましょう！



ちいきがっこうえんどくしょしゅうかん 地域学校園読書週間のようす



11月の読書ビンゴに引き続き、第二弾地域学校園ビンゴに取り組みました。色々なジャンルの本を借りて、たくさんの方がビンゴを達成しました。分類表や図書案内図を見て、本を探す姿もあり、分類への理解が高まりました。

こども 読書 キャンペーンについて



12月号でもお伝えしましたが、文部科学省では、子供の読書活動を推進するため、特設ページ「子供の読書キャンペーン～きみに贈りたい1冊～」を設けました。ここでは、教育、科学技術・学術、文化、スポーツの分野で活躍する方々のおすすめの本とメッセージを紹介しています。2月・4月にも、記事が更新されます。興味のある人は、ぜひチェックしてみてください。